

令和元年度 総合計画策定に向けた地区別懇談会

次 第

1. 開会

2. あいさつ

- ・ 市長（主催者）
- ・ 福岡地区会長（地元地区代表）

3. 説明・意見交換

（1）次期総合計画の策定状況について
（基本構想の体系案、土地利用の方向性について）

（2）意見、質疑

4. 閉会

令和元年度実施
総合計画策定に向けた地区別懇談会

福岡地区

1. 総合計画とは

* 総合計画は「まちづくりの道しるべ・羅針盤」

総合計画は、将来、東金市をどのような「まち」にしていくのか、市の目指すべき将来像を描き、そこにたどり着くためにどのような取り組みを行っていくかを総合的・体系的にまとめた市の一番大きな計画であり、市のまちづくりを進めるための「道しるべ（羅針盤）」と言えるものです。

* 総合計画は「みんなで作る」

総合計画の策定においては、多方面の方々からの意見が重要です。

次期総合計画を策定するために、市政の方針である「市民とともに進める」という基本姿勢に則し、市民の皆さんや関係団体など意見交換し、共に「目指すべき将来像」を考え、それを叶えるための次期総合計画を策定します。

2. 現行の総合計画 2001(H13)~2020(R2)

- (1) 現行計画の体系
- (2) 計画期間中の人口推移
- (3) // 主要産業の推移

(1) 現行計画の体系

H13

R2

基本構想

人・自然 と き め き 交 感 都 市 東 金

第1期基本計画 H13～H17

【人口増に向けた
基盤整備の推進】

[主要事業]

- ・東金アリーナ建設
- ・ふれあいセンター開設
- ・農集排の推進
- ・企業誘致の推進
- ・循環バスの導入
- ・広域農道整備 など

第2期基本計画 H18～H22

【自立都市として歩むため
行財政の建て直し】

[主要事業]

- ・教育施設の建替・充実
- ・放課後こども教室実施
- ・ファミサポ事業
- ・農集排推進
- ・自立農業経営者育成
- ・東金駅バリアフリー化 など

第3期基本計画 H23～H27

【将来へ向けての
種まきの実施】

[主要事業]

- ・国体開催
- ・正気小新築
- ・東千葉MC開院
- ・みのりの郷東金開業
- ・地域防災計画改定 など

第4期基本計画 H28～R2

【地方創生に基づいた
「まちの活性化」】

[主要事業]

- ・波乗りハーフマラソン
- ・子育て世代包括支援センター開設
- ・産後ケア事業開始
- ・みのりの郷、加工所
- ・公衆無線LAN環境の整備 など

(2) 計画期間中の人口推移

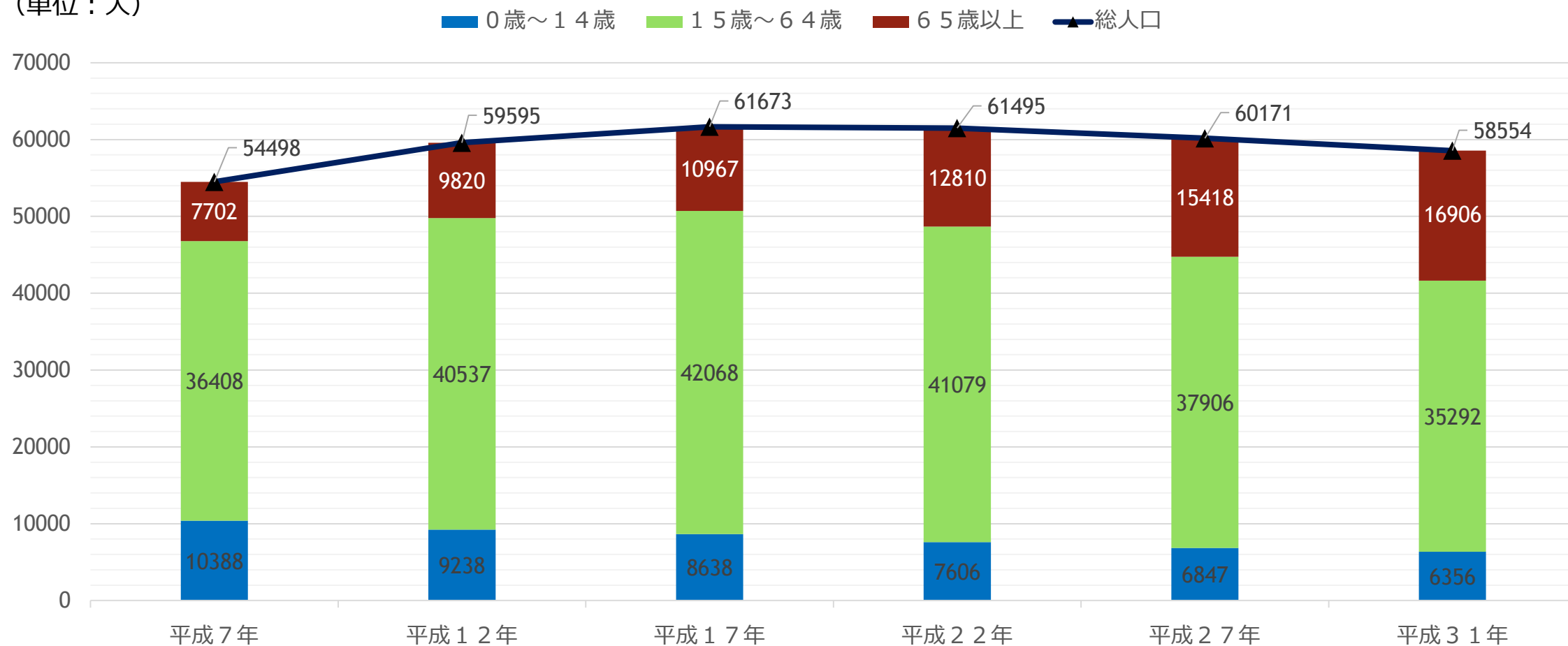
現行計画期間中の人口推移

人口

★人口はH 1 8をピークに減少傾向に。H 7→H 1 2間で若年人口と老齡人口比率が逆転

年齢3区分別 人口増減

(単位：人)



(3) 計画期間中の主要産業の推移
－農業・工業・商業・観光－

現行計画期間中の主要産業の推移

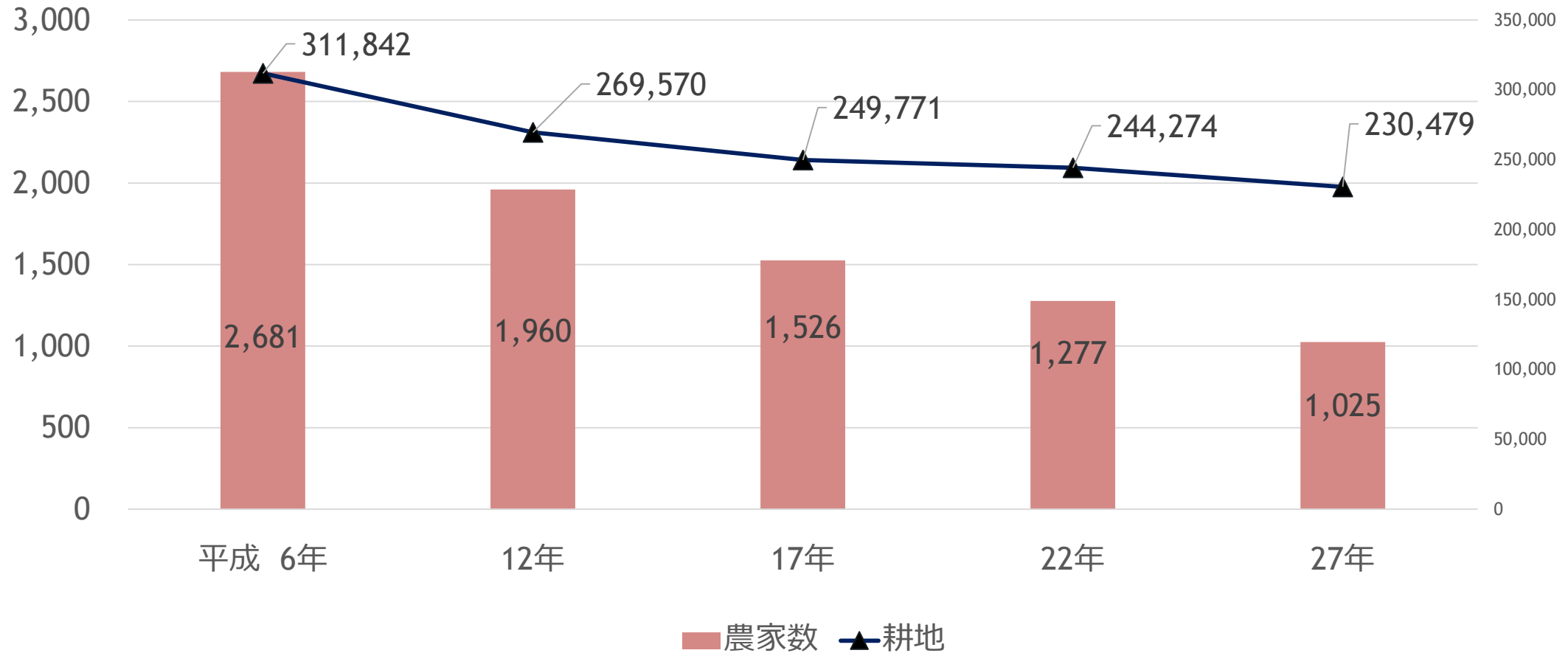
農業

★農家数・耕地面積ともに減少傾向

農家数・耕地面積の推移

(単位：戸)

(単位：a)



現行計画期間中の主要産業の推移

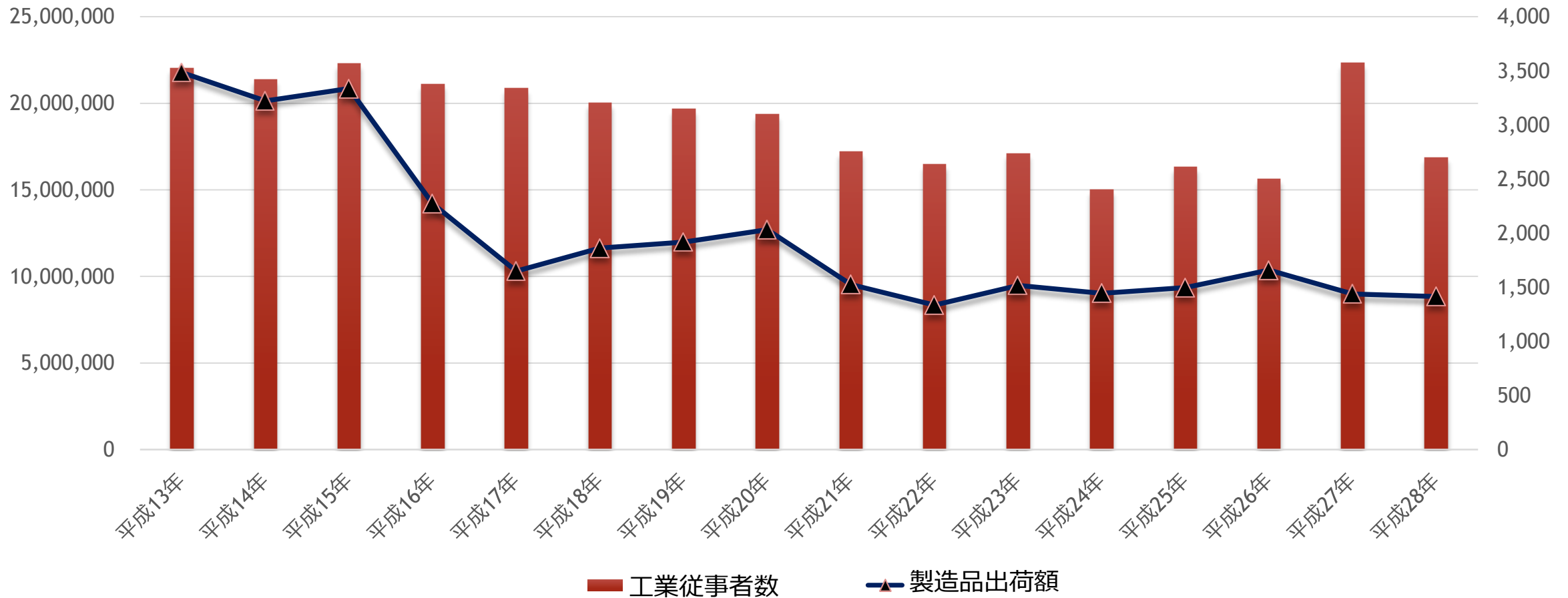
工業

★工業従事者数・製造品出荷額ともに減少。

工業従事者数と出荷額の推移

(単位：万円)

(単位：従事者数)



現行計画期間中の主要産業の推移

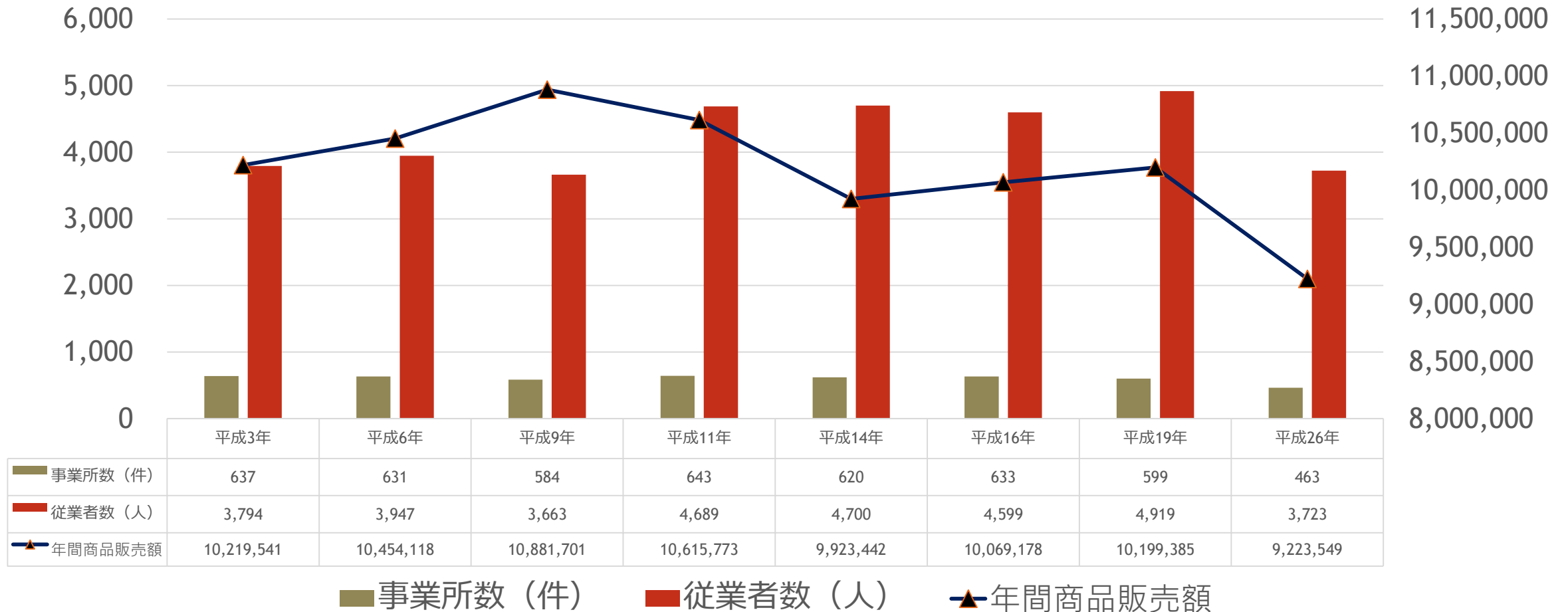
商業

★事業所件数は一時増加の後減少へ。従業者数・年間総品販売額ともに減少傾向にある。

卸売・小売業の事業所、従業者、販売額推移

(単位：万円)

(単位：件・人)



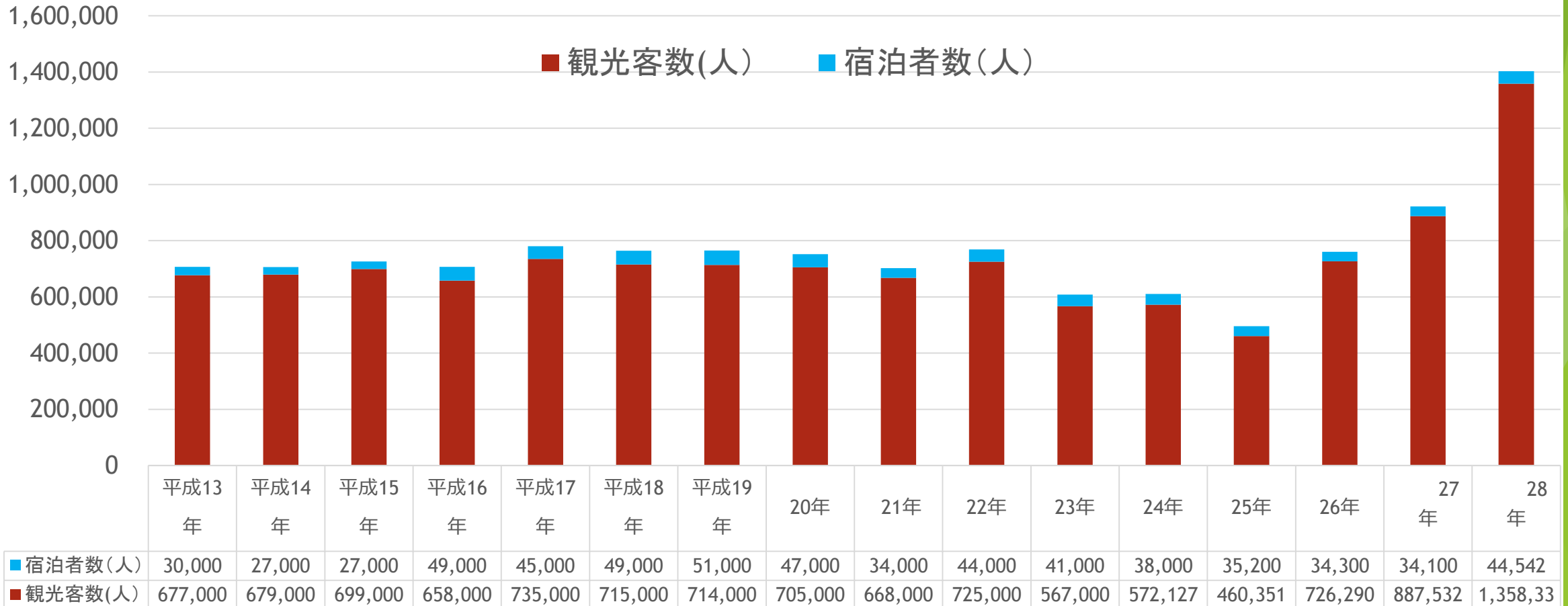
現行計画期間中の主要産業の推移

観光

★観光客は横ばいから減少したのち、
みのりの郷東金の開業で大幅にUPしたが、増加したのはみのりの郷のみ。

観光入込客数推移

(単位：人)



3. 市民意識の状況

(1) 市民要望（アンケート）結果

- ・ 満足度、不満足度
- ・ 今後の重要度

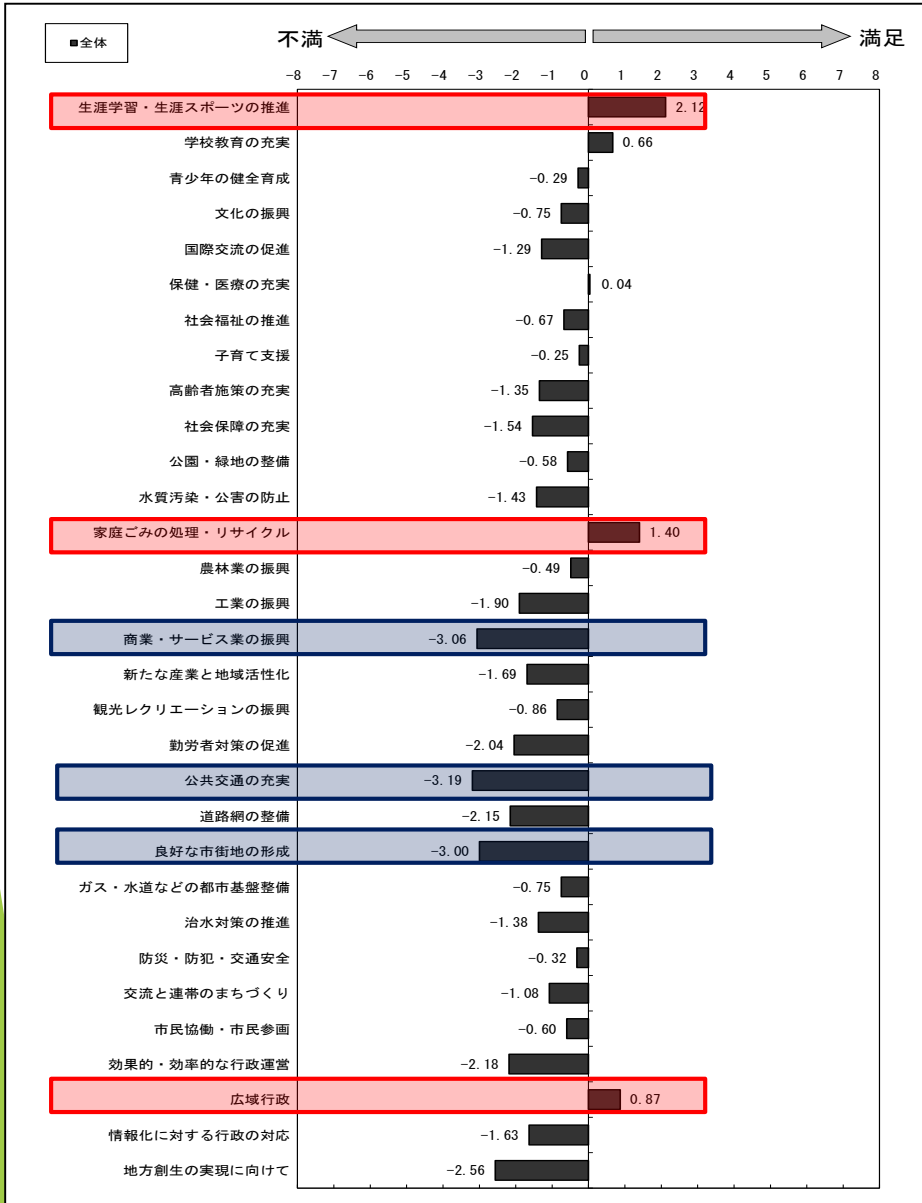
(2) 平成30年度に実施した地区別懇談会の意見

- ・ 強み、弱み、将来への要望

(1) 市民要望（アンケート）結果
～市の取組みへの満足度～

市民アンケートでの満足度（市全体意見）

<市の取り組みに関する満足度（市全体）>



第3次総合計画における東金市の31施策

| | |
|------------------|-------------------|
| 1 生涯学習・生涯スポーツの推進 | 17 新たな産業と地域活性化 |
| 2 学校教育の充実 | 18 観光レクリエーションの振興 |
| 3 青少年の健全育成 | 19 勤労者対策の促進 |
| 4 文化の振興 | 20 公共交通の充実 |
| 5 国際交流の促進 | 21 道路網の整備 |
| 6 保健・医療の充実 | 22 良好な市街地の形成 |
| 7 社会福祉の推進 | 23 ガス・水道などの都市基盤整備 |
| 8 子育て支援 | 24 治水対策の推進 |
| 9 高齢者施策の充実 | 25 防災・防犯・交通安全 |
| 10 社会保障の充実 | 26 交流と連携のまちづくり |
| 11 公園・緑地の整備 | 27 市民協働・市民参画 |
| 12 水質汚染・公害の防止 | 28 効果的・効率的な行政運営 |
| 13 家庭ごみの処理・リサイクル | 29 広域行政 |
| 14 農林業の振興 | 30 情報化に対する行政の対応 |
| 15 工業の振興 | 31 地方創生の実現に向けて |
| 16 商業・サービス業の振興 | |

<市の取り組みへの満足度（市全体）>

- 満足度評価が高い項目は「生涯学習・生涯スポーツの推進」。
- 次いで「家庭ごみの処理・リサイクル」、「広域行政」の順
- 満足度評価が低い項目は「公共交通の充実」。
- 次いで「商業・サービス業の振興」、「良好な市街地の形成」の順

市民アンケート結果（地区別満足度 1 / 2）

<東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）>

<上位3項目>

- 生涯学習・生涯スポーツの推進
- 家庭ごみの処理・リサイクル
- 広域行政

<下位3項目>

- 公共交通の充実
- 良好な市街地の形成
- 商業・サービス業の振興

<東金地区（日吉台・八坂台）>

<上位3項目>

- 家庭ごみの処理・リサイクル
- 生涯学習・生涯スポーツの推進
- 広域行政

<下位3項目>

- 商業・サービス業の振興
- 公共交通の充実
- 良好な市街地の形成

<嶺南地区>

<上位3項目>

- 生涯学習・生涯スポーツの推進
- 家庭ごみの処理・リサイクル
- 学校教育の充実

<下位3項目>

- 公共交通の充実
- 効果的・効率的な行政運営
- 新たな産業と地域活性化

<城西地区>

<上位3項目>

- 生涯学習・生涯スポーツの推進
- 広域行政
- 家庭ごみの処理・リサイクル

<下位3項目>

- 良好な市街地の形成
- 公共交通の充実
- 水質汚染・公害の防止

<田間地区>

<上位3項目>

- 生涯学習・生涯スポーツの推進
- 学校教育の充実
- 家庭ごみの処理・リサイクル

<下位3項目>

- 公共交通の充実
- 商業・サービス業の振興
- 地方創生の実現に向けて

<公平地区>

<上位3項目>

- 生涯学習・生涯スポーツの推進
- 学校教育の充実
- 家庭ごみの処理・リサイクル

<下位3項目>

- 公共交通の充実
- 商業・サービス業の振興
- 社会保障の充実

市民アンケート結果（地区別満足度 2/2）

<豊成地区>

<上位3項目>

- 家庭ごみの処理・リサイクル
- 生涯学習・生涯スポーツの推進
- 広域行政

<下位3項目>

- 良好な市街地の形成
- 道路網の整備
- 地方創生の実現に向けて

<正気地区>

<上位3項目>

- 生涯学習・生涯スポーツの推進
- 広域行政
- 家庭ごみの処理・リサイクル

<下位3項目>

- 商業・サービス業の振興
- 水質汚染・公害の防止
- 良好な市街地の形成

<福岡地区>

<上位3項目>

- 生涯学習・生涯スポーツの推進
- 広域行政
- 青少年の健全育成

<下位3項目>

- 商業・サービス業の振興
- 効果的・効率的な行政運営
- 良好な市街地の形成

<大和地区>

<上位3項目>

- 生涯学習・生涯スポーツの推進
- 学校教育の充実
- 家庭ごみの処理・リサイクル

<下位3項目>

- 地方創生の実現に向けて
- 商業・サービス業の振興
- 観光レクリエーションの振興

<丘山地区>

<上位3項目>

- 生涯学習・生涯スポーツの推進
- 広域行政
- 家庭ごみの処理・リサイクル

<下位3項目>

- 公共交通の充実
- 商業・サービス業の振興
- 効果的・効率的な行政運営

<源地区>

<上位3項目>

- 社会福祉の推進
- 防災・防犯・交通安全
- 公園・緑地の整備

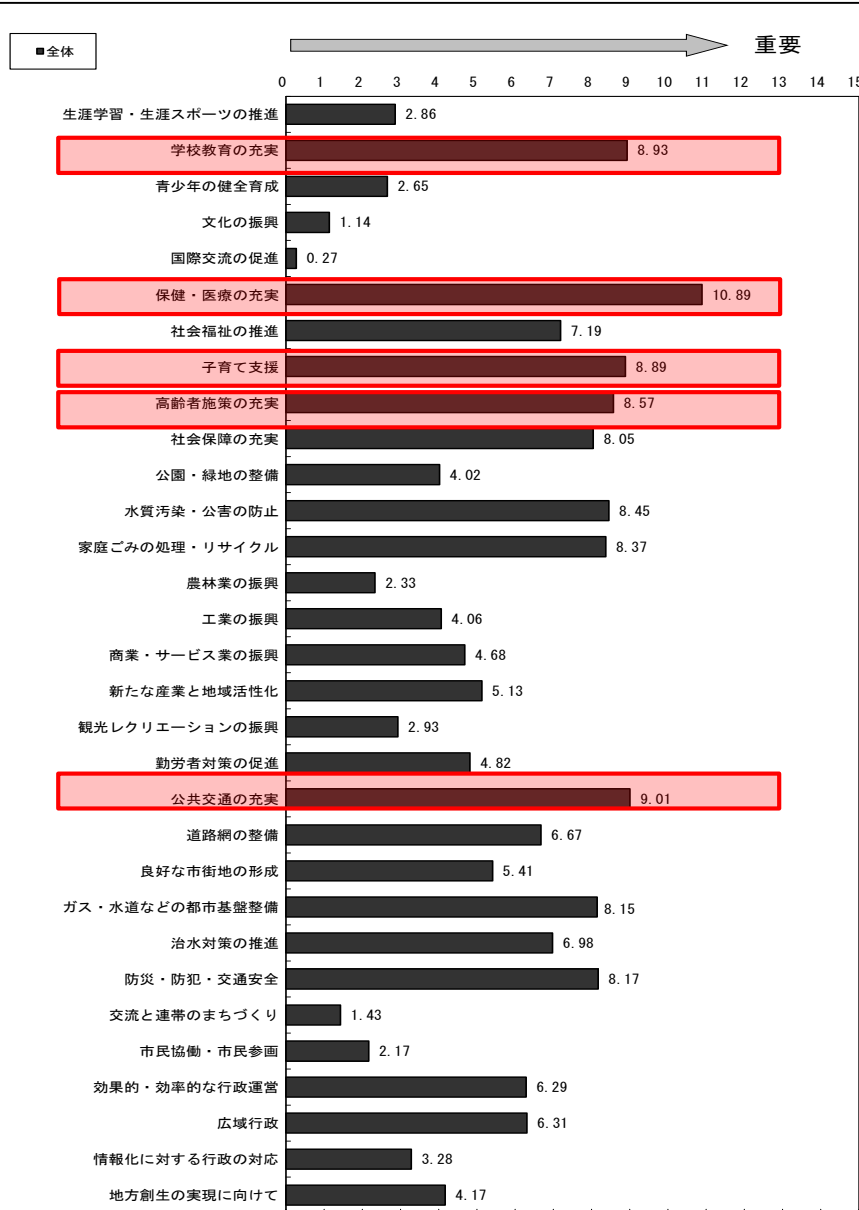
<下位3項目>

- 良好な市街地の形成
- 効果的・効率的な行政運営
- 社会保障の充実

(1) 市民要望（アンケート）結果
～市の取組みの重要度～

市民アンケートでの重要度（市全体意見）

＜市の取組みに関する重要度＞



第3次総合計画における東金市の31施策

| | |
|------------------|-------------------|
| 1 生涯学習・生涯スポーツの推進 | 17 新たな産業と地域活性化 |
| 2 学校教育の充実 | 18 観光レクリエーションの振興 |
| 3 青少年の健全育成 | 19 勤労者対策の促進 |
| 4 文化の振興 | 20 公共交通の充実 |
| 5 国際交流の促進 | 21 道路網の整備 |
| 6 保健・医療の充実 | 22 良好な市街地の形成 |
| 7 社会福祉の推進 | 23 ガス・水道などの都市基盤整備 |
| 8 子育て支援 | 24 治水対策の推進 |
| 9 高齢者施策の充実 | 25 防災・防犯・交通安全 |
| 10 社会保障の充実 | 26 交流と連携のまちづくり |
| 11 公園・緑地の整備 | 27 市民協働・市民参画 |
| 12 水質汚染・公害の防止 | 28 効果的・効率的な行政運営 |
| 13 家庭ごみの処理・リサイクル | 29 広域行政 |
| 14 農林業の振興 | 30 情報化に対する行政の対応 |
| 15 工業の振興 | 31 地方創生の実現に向けて |
| 16 商業・サービス業の振興 | |

＜市の取組みに関する重要度＞

- 重要度評価が高い項目は「**保健・医療の充実**」。
- 次いで「**公共交通の充実**」、「**学校教育の充実**」、「**子育て支援**」、「**高齢者施策の充実**」の順

市民アンケート結果（地区別重要度 1 / 2）

<東金地区（上宿・岩崎・新宿・谷）>

- 保健・医療の充実
- 公共交通の充実
- 子育て支援
- 学校教育の充実
- 家庭ごみの処理・リサイクル

<東金地区（日吉台・八坂台）>

- 保健・医療の充実
- 公共交通の充実
- 子育て支援
- 学校教育の充実
- 高齢者施策の充実

<嶺南地区>

- 保健・医療の充実
- 高齢者施策の充実
- 学校教育の充実
- 家庭ごみの処理・リサイクル
- 社会保障の充実

<城西地区>

- 子育て支援
- 保健・医療の充実
- 家庭ごみの処理・リサイクル
- 水質汚染・公害の防止
- 道路網の整備

<田間地区>

- 保健・医療の充実
- 公共交通の充実
- 学校教育の充実
- ガス・水道などの都市基盤整備
- 子育て支援

<公平地区>

- 学校教育の充実
- 保健・医療の充実
- 防災・防犯・交通安全
- 子育て支援
- 水質汚染・公害の防止

市民アンケート結果（地区別重要度 2 / 2）

＜豊成地区＞

- 水質汚染・公害の防止
- 家庭ごみの処理・リサイクル
- 学校教育の充実
- 子育て支援
- 保健・医療の充実

＜正気地区＞

- 保健・医療の充実
- 水質汚染・公害の防止
- 学校教育の充実
- 家庭ごみの処理・リサイクル
- ガス・水道などの都市基盤整備

＜福岡地区＞

- 保健・医療の充実
- 家庭ごみの処理・リサイクル
- 社会福祉の推進
- 社会保障の充実
- 子育て支援
- 公共交通の充実

＜大和地区＞

- 保健・医療の充実
- 高齢者施策の充実
- 学校教育の充実
- 子育て支援
- 社会保障の充実

＜丘山地区＞

- 保健・医療の充実
- 学校教育の充実
- ガス・水道などの都市基盤整備
- 高齢者施策の充実
- 社会保障の充実

＜源地区＞

- 家庭ごみの処理・リサイクル
- 公共交通の充実
- ガス・水道などの都市基盤整備
- 社会保障の充実
- 広域行政

(2) 平成30年度に実施した地区別懇談会の意見

- ・ 強み、弱み、将来への要望

福岡地区

1. 電車・バス等交通網に関するもの

* 東金有料、物流拠点など首都圏からも近く利便性高い。今後圏央道などポテンシャルを発揮していく。（発展の歴史からみても地の利がある）

* 歴史から見ても商いの要衝であった。交通網・知の利があるからである。生かすべき

* JRは弱い。立地や利用者数からみてもJRへの改善要望は通らないと思われる。別の方向性で公共交通を伸ばすべき。

2. 市街地整備に関すること

* 旧道沿いの賑わい不足を何とかしないといけない。昔ながらで好む人も多いだけに残念である。

* 魅力らしい魅力がない。歴史や先人たちの遺産を継承した街づくりができていない。まちづくりが正直すぎる。例えば八鶴湖に菖蒲を植えるなど付加価値をつける動きも必要。

* 福岡地区は中心市街地に行かない生活の利便が低い。運転できない歳になったら生活できないと感じる。中心市街地との連結だけでなく、大網・九十九里との市域を超えた連携を検討してほしい。

3. 福祉・保健に関するもの

* 東千葉メディカルセンターに産科がオープンしたことは強みである。あとは保育関係、小学校など子育て支援の充実した環境であれば第2子・第3子を考える。移住も増えるのでは。

* 高齢者の活動への支援を充実させてほしい。高齢者が目的をもって活動できる環境を作してほしい。

* 東金はこどもたちの医療費・教育費が安いなど、子を持つ若い人たちに選ばれる街に。こどもを育てやすいまちづくりしかない。その一点。

4. 産業に関するもの

* 工業団地がある。企業の集積ある程度あるが、もっと誘致し、従業員の居住、市民の雇用、税収増に繋げる。

* 農業に強みがあると感じる。農産物の優れた生産環境は魅力である。これだけ広い九十九里平野で1作だけの生産はもったいない。2作、3作できるかどうか検討し、農業を伸ばしてほしい

* 隣町に海がある。市町村間連携で海も活用した産業づくりができないか。

* 城西国際大学は強み。外国の人たちが住める環境づくりを進めてほしい。労働人口につながる。

5. 行政への要望に関するもの

- * 災害が少ない。東京都心からの距離や自然・文化など魅力はある。その魅力を発信する力が足りない。
- * 古い文化も大切だが、新しい住民からの文化の吸収も必要。歴史も交え新しい住民とまちづくりができればよい。
- * SDG s を意識した総合計画づくりをしてほしい。進むべき方向性が見えやすくなる。

4. 次期総合計画について

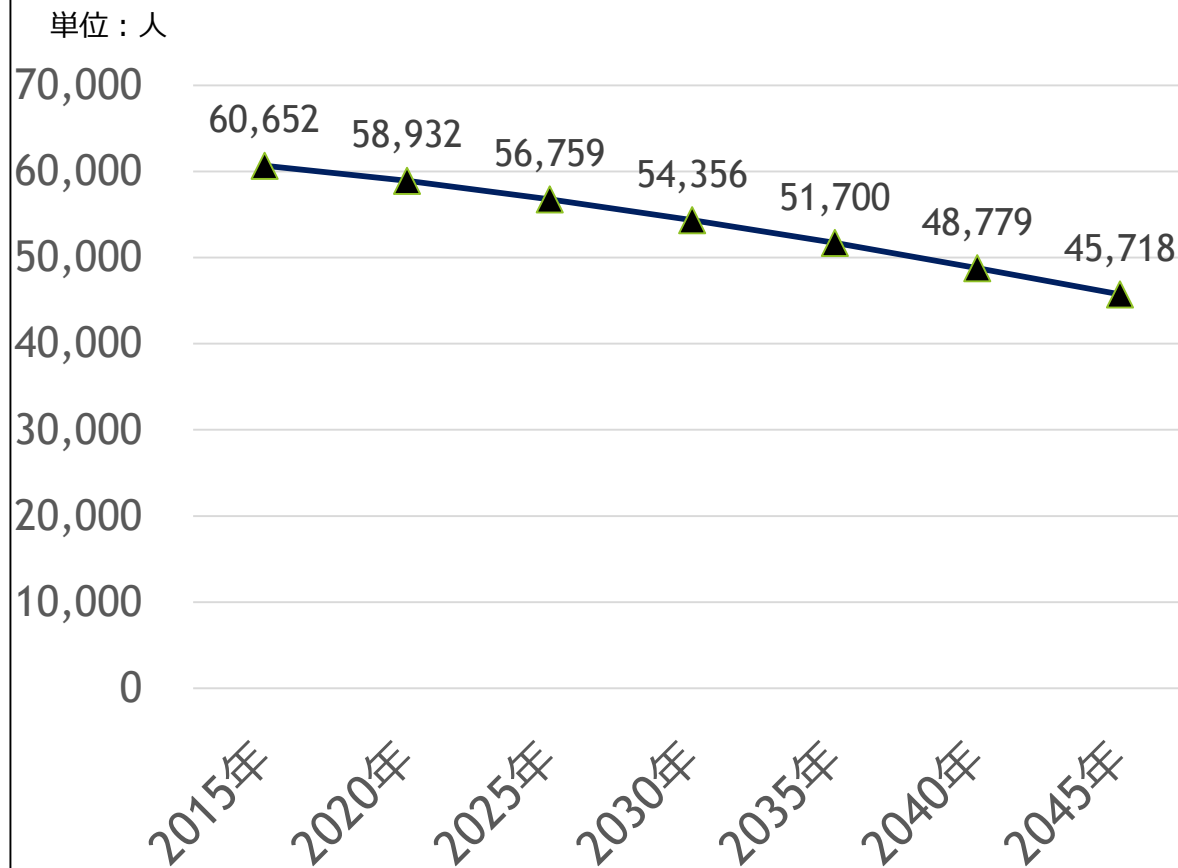
- (1) 次期総計策定に際しての課題・実情
- (2) 次期総合計画の体系（案）

(1) 次期総計策定に際しての課題・実情

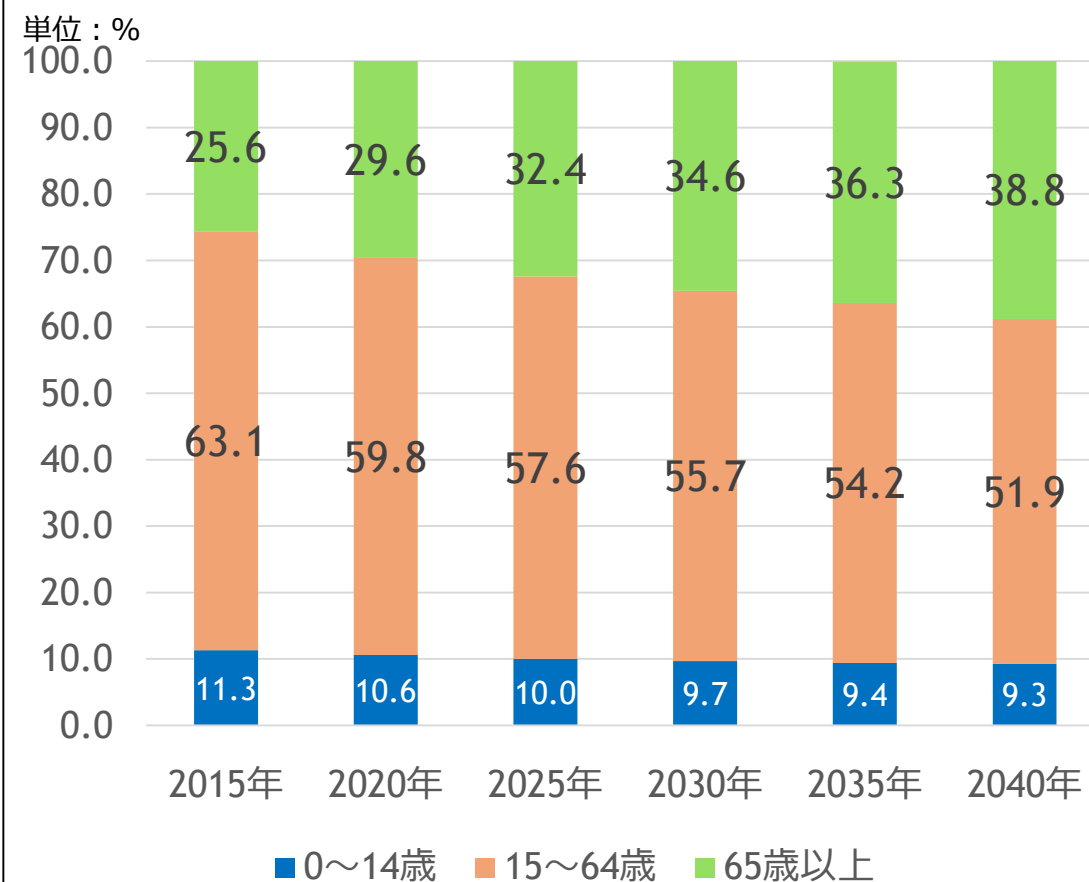
次期総合計画策定の課題・実情（将来人口推計）

国立社会保障人口問題研究所（社人研）の行った人口の将来推計によると、東金市の人口は今後も減少していくことが予想され、次期総合計画終了の2030年には **★人口：54,356人** **★高齢化率：34.6%** と推計されている。

人口の将来見通し（社人研推計）



年齢3階層別人口構成比



次期総合計画策定の課題・実情

★次期総計策定に際しての課題であり、考慮すべきこと

現行計画期間中の潮流・今後も継続する課題

- ◎ 人口減少・少子高齢化
- ◎ 各種産業や賑わいの減退

地区別懇談会など市民との対話

- ◎ 市民が感じる「強み」「弱み」
- ◎ 「目指すべき将来像」の把握、活用、補完
- ◎ 地域との共存、地域ごとの課題の把握

これらの視点・課題を「補い」、
「解決し」、「伸ばし」、「活かす」
次期総合計画を策定しなければならない。

市民要望（満足度・重要度）の把握

- ◎ 道路網や大学、病院、地の利などの活用
- ◎ 公共交通の脆弱性への対応
- ◎ 街の賑わい減退
- ◎ 良好や市街地形成・有効な土地利用
- ◎ 保健・医療などへの注力
- ◎ 学校教育・子育て支援の充実
- ◎ 福祉施策の充実

市が置かれる現状とその解消

- ◎ さらなる人口減少・少子高齢化への対応
- ◎ 扶助費の増加、税収の減少
- ◎ 硬直化する財政状況好転への対応
- ◎ 持続的発展に向け、今やること、種まき

(2) 次期総合計画の体系 (案)

次期総合計画の構成

2030年の目指すべき将来像

<基本理念>

- 未来へ向かいポテンシャルを最大限に活かしたまち
- 誇りと愛着を持って暮らせるまち
- 地域と共に手を携え歩むまち

主に「未来」に向けた方針

主に「成熟・安定」に向けた方針

1

子どもたちの今と未来を創る

2

稼ぎ・賑わうまちを創る

3

街・道・自然が織り成す市域を創る

4

安心して健やかな暮らしを創る

5

こころ豊かなひとを創る

計画の実現に向けて

(5本の柱を機能させるための行政の取組み)

<まちづくりの基礎・土台>

市民力・地域力・多様なコミュニティ力

<将来像> - 2030(R12)年度に、どんなまちでありたいか
(キャッチフレーズ)

<基本理念> - まちづくりの基本的考え方

東金市の持つ資源・将来の発展可能性、先人たちの築いた伝統、市民意見や市民とともに街づくりをする姿勢を整理

<まちづくりの柱> - 市が行うすべての取組みの分野ごと束ね

①子どもたちの今と未来を創る

「子育て支援」「学校教育」「青少年健全育成」

②稼ぎ・賑わうまちを創る

「産業」「経済」「雇用」「観光」

③街・道・自然が織り成す市域を創る

「都市基盤」「自然・環境保全」

④安心して健やかな暮らしを創る

「福祉」「健康」「医療」「防災・防犯」

⑤こころ豊かなひとを創る

「歴史・文化」「生涯学習」「スポーツ振興」「国際交流」

<計画の実現に向けて> - 5柱を機能させるための行政内部事務等

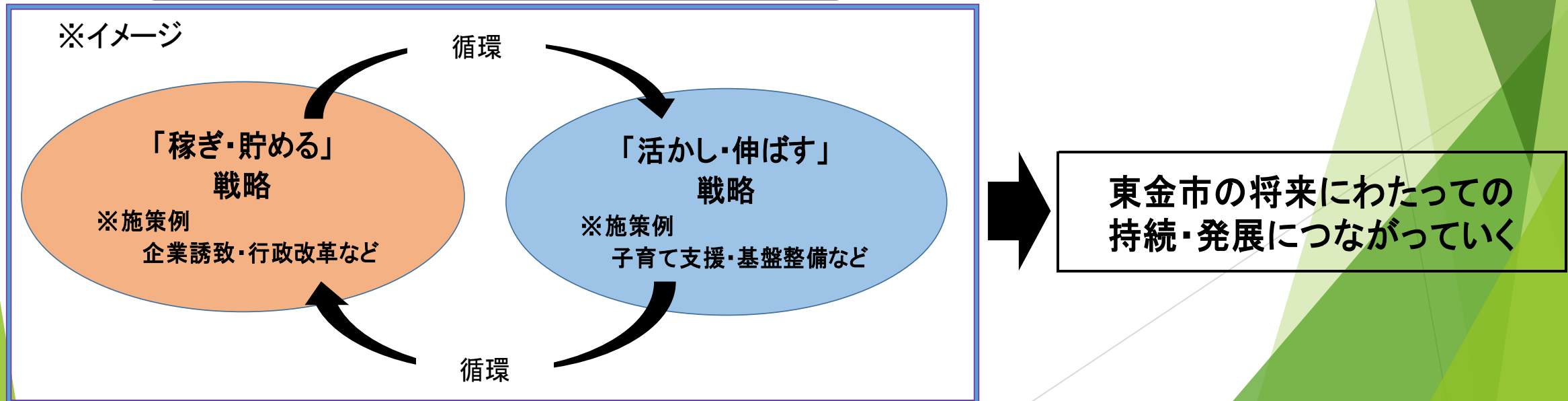
<まちづくりの基礎・土台> - 市民・地域・コミュニティとの連携

★とうがね10年の経営重点戦略

東金市が将来にわたって持続的に発展していくため、従来の行政運営の視点に加え、「投資」と「発展」を好循環していくための経営的な観点を『とうがね10年の経営重点戦略』として導入する。

この重点戦略は、計画期間の10年間において、「投資」と「発展」が好循環し始めるよう、また、さらに先を見据え、その好循環の基礎となるよう、資源（ヒト・モノ・カネ）を効果的・効率的・重点的に投入していく。

とうがね10年の経営重点戦略(案)



次期総合計画の構成

★次期総合計画の運用

次期総合計画は、現行総合計画中の取組みの評価や、市民意見、今後予想される種々多様な事象などを考慮し体系化したうえで、長期・中期・短期の計画を効率的に運用すべく以下のとおり3層構造の計画とする。
また、今後先進技術の進展などによる社会的な変化は一層活発になるが予想される。
社会の動きと計画の乖離を防ぎ、柔軟に対応するため、計画期間は超長期ではなく10年間にすることとした。

基本構想

基本計画

実施計画

基本構想

R3(2021) → R12(2030)

前期基本計画

R3(2021)~R7(2025)

後期基本計画

R8(2026)~R12(2030)

実施計画

実施計画

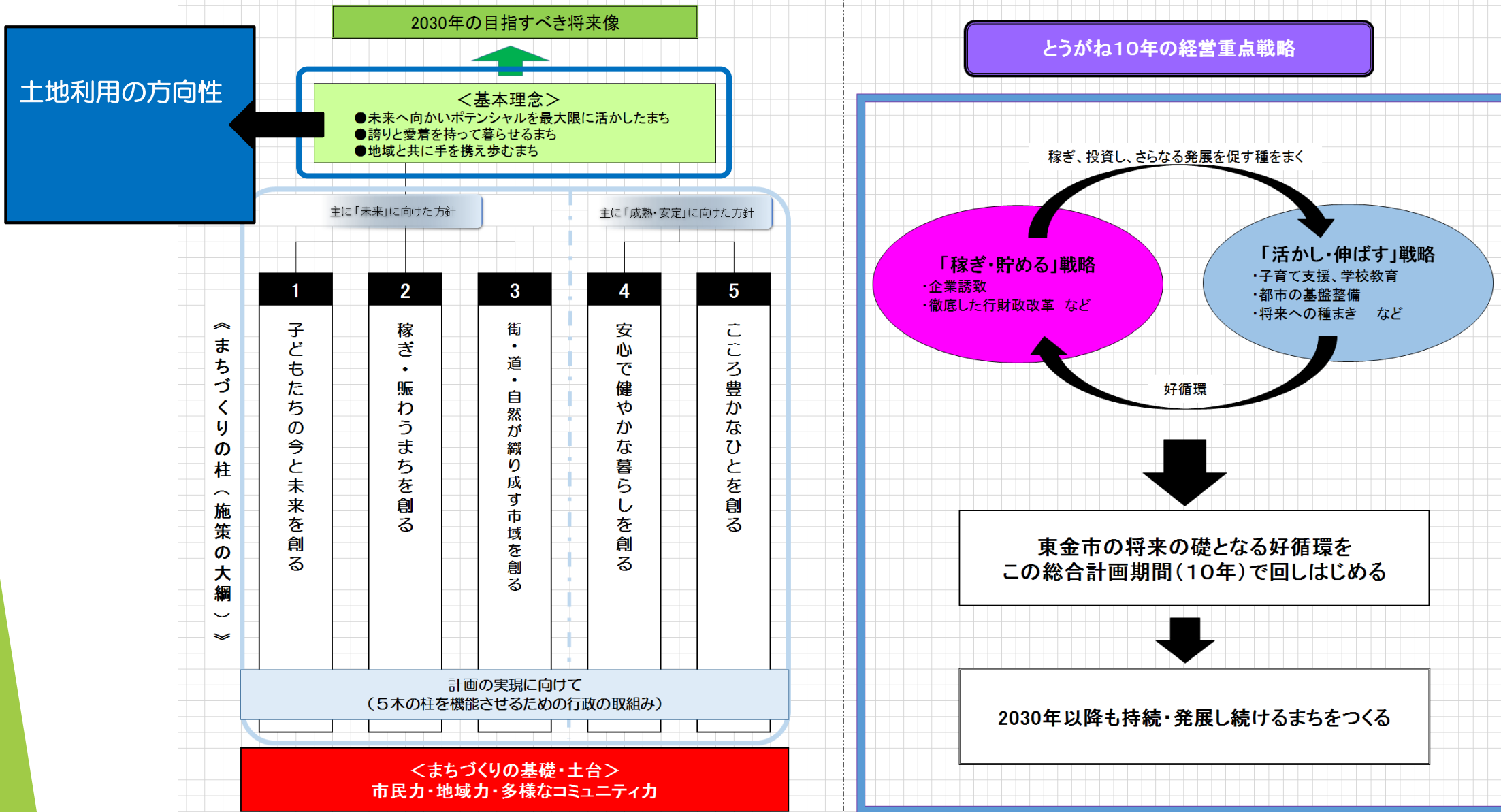
実施計画

実施計画

実施計画

まとめ 次期総合計画の全体構造

東金市第4次総合計画 全体構造図



土地利用の方向性

次期総合計画における基本理念

- 未来へ向かいポテンシャルを最大限に活かしたまち
- 誇りと愛着を持って暮らせるまち
- 地域と共に手を携えて歩むまち

土地利用の方向性

- (1) ポテンシャルを生かしたまちづくり**
- (2) 市の中心部に都市機能の一定の集積を進めるまちづくり**
- (3) 住み慣れた地域に住み続けられるまちづくり**
- (4) 公共交通の利便性を高めるまちづくり**

土地利用の方向性

(1) ポテンシャルを生かしたまちづくり

- 本市の強みである広域幹線道路ネットワークを活用した産業交流軸の形成により、賑わいと活力のあるまちづくりを行う。

土地利用の方向性

(2) 市の中心部に都市機能の一定の集積を進めるまちづくり

- 人口減少社会の中で持続可能な都市を築いていくため、市の中心部への都市機能（行政、商業、医療・福祉等）の一定の集積により、都市としての機能強化を図り、全市的な都市サービスを継続して効率的に提供できるまちづくりを行う。

土地利用の方向性

(3) 住み慣れた地域に住み続けられるまちづくり

- 住み慣れた地域において、文化や風土、人のつながり、豊かな自然などを大切にしながら、生きがいと生業を持って暮らし続けられるよう、居住場所に関わらず生活サービスや集積された都市サービスを享受できるまちづくりを行う。

土地利用の方向性

(4) 公共交通の利便性を高めるまちづくり

- 少子高齢化社会の中で地域と市街地を連結する公共交通網を再編することにより、交通の利便性を高めるまちづくりを行う。
- 首都圏等とのアクセス性向上や広域連携を視野に入れ、鉄道輸送や高速バスなどの利便性を高めるまちづくりを行う。

土地利用の方向性

(1) ポテンシャルを生かしたまちづくり

- 本市の強みである広域幹線道路ネットワークを活用した産業交流軸の形成により、賑わいと活力のあるまちづくりを行う。

(2) 市の中心部に都市機能の一定の集積を進めるまちづくり

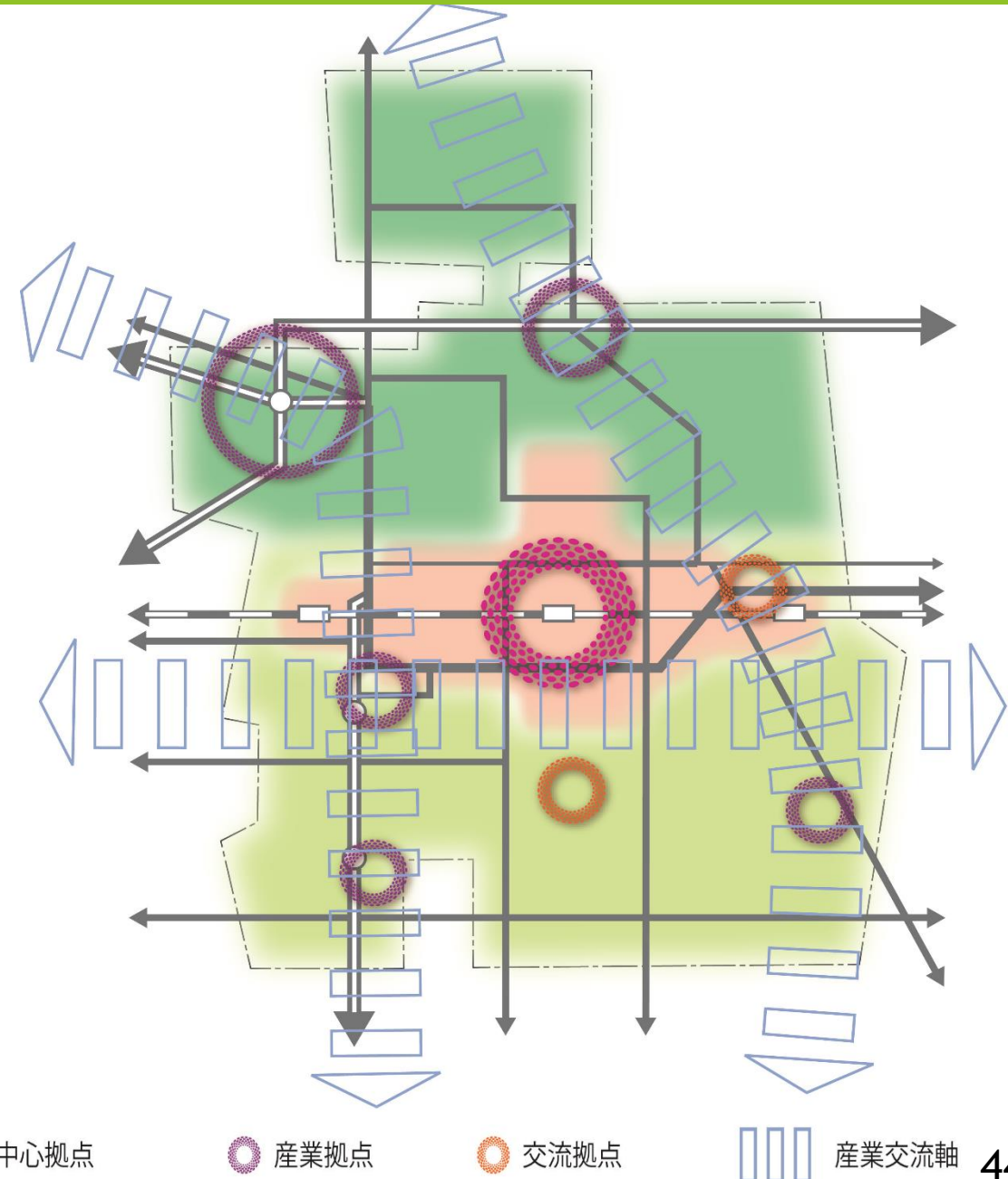
- 人口減少社会の中で持続可能な都市を築いていくため、市の中心部への都市機能（行政、商業、医療・福祉等）の一定の集積により、都市としての機能強化を図り、全市的な都市サービスを継続して効率的に提供できるまちづくりを行う。

(3) 住み慣れた地域に住み続けられるまちづくり

- 住み慣れた地域において、文化や風土、人のつながり、豊かな自然などを大切にしながら、生きがいと生業を持って暮らし続けられるよう、居住場所に関わらず生活サービスや集積された都市サービスを享受できるまちづくりを行う。

(4) 公共交通の利便性を高めるまちづくり

- 少子高齢化社会の中で地域と市街地を連結する公共交通網を再編することにより、交通の利便性を高めるまちづくりを行う。
- 首都圏等とのアクセス性向上や広域連携を視野に入れ、鉄道輸送や高速バスなどの利便性を高めるまちづくりを行う。



○ 中心拠点

○ 産業拠点

○ 交流拠点

▮ 産業交流軸